

【自然観察”学習会】自然観察会のプロフェッショナル NACS-J の二人のお話が聴けるチャンス！！

★2024年9月14日(土) 14:00~16:00

●「すべてのこどもに自然体験を ~自然観察が届けるこどもの体験の意味」 日本自然保護協会 (NACS-J) 櫻井亜里沙さん

●「自然観察ではなく、自然観察会であることの意味」  
NACS-J 事務局長 志村智子さん

■会場：エコみらいとくしま2階会議室（西新浜町2丁目3-102）

■参加無料、当日参加大歓迎！！

■主催：とくしま自然観察の会

■問合せ先：kansatsunokai@gmail.com

#### ■講師プロフィール

●櫻井亜里沙 日本自然保護協会 (NACS-J) 自然のちから推進部・企業連携チームに所属。

学生時代は動物行動学や畜産学を専攻。観光牧場で動物飼育やファームツアーガイドを担当、ニュージーランドでのヒツジやアルパカ牧場勤務を経験後、現職。

企業との協働で自然観察会や普及啓発の企画運営、ひとり親家庭や不登校児などを対象にした自然体験プログラムの企画運営などを担当している。

昨年までは、海や砂浜を見る目を増やす「全国砂浜ムーブメント」の活動で、砂浜の魅力や課題を伝える「砂浜アクティビスト」の養成講座を担当。現在は、保護・教育部が担当する「すべてのこどもに自然を！プロジェクト」にて、境遇に関係なく自然の原体験を届ける活動を、企業との協働でより強化するべく、全国の自然観察指導員と連携している。

●志村智子

公益財団法人日本自然保護協会 事務局長・執行理事

学生時代に、知床の保護問題、自然観察指導員などに関わり始め、丸の内の時代に、世界遺産になる前の白神山地の保護活動にボランティアとしての活動に参加。年、森林保護・環境教育業務のサポートスタッフに。『自然保護』編集長時代には、地球サミット（・ブラジル）にとして参加、取材。環境教育担当、管理部部長、広報担当、保護部長などを経て、現職。

★本学習会は、とくしま県民活動プラザ「令和6年度 NPO 強化事業」の助成を受けて実施しています。



©幸田青滋